

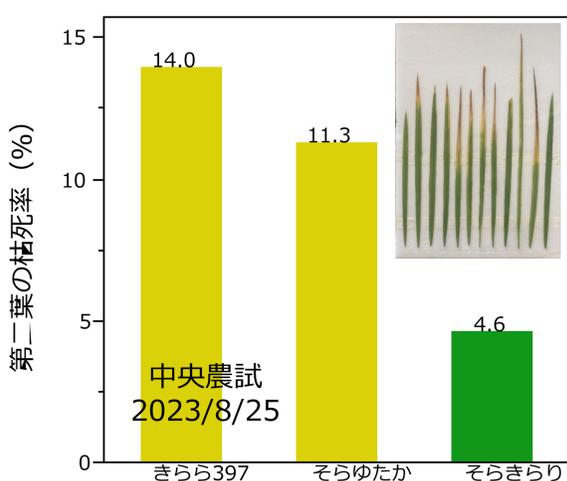
多収米「そらきらり」の作り方

概要 Abstract

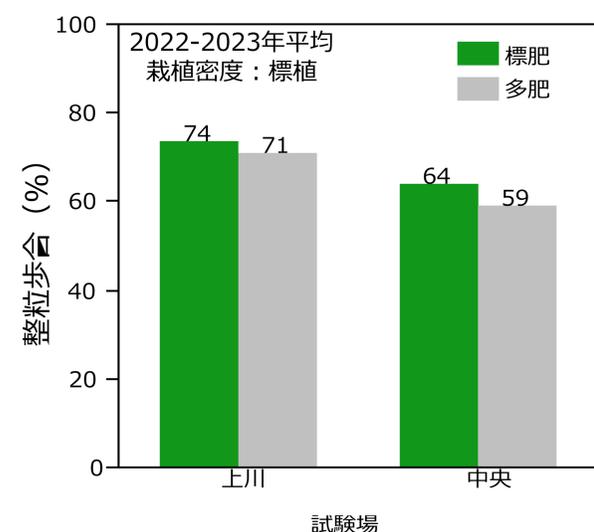
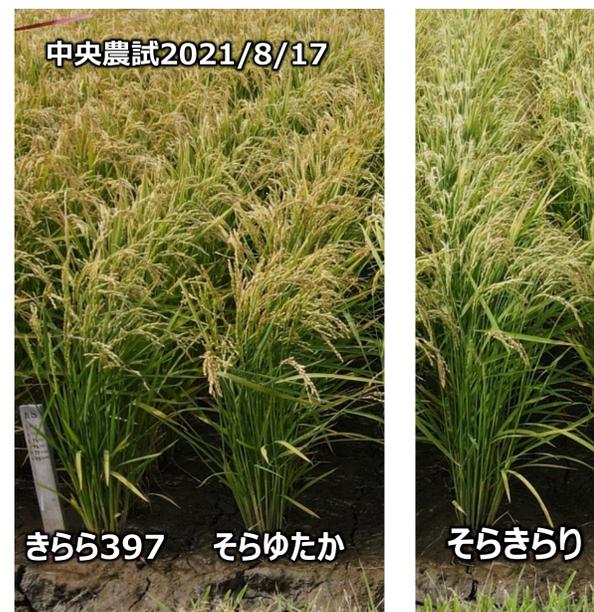
- ✓ 目標収量は「北海道施肥ガイド」の基準収量対比で120%を基本とします。窒素施肥量は施肥標準量に準じます。
- ✓ 収穫期の目安は出穂期後日平均気温積算値で1100~1200℃です。

成果 Results

(1) 栽培管理は「施肥標準量（標肥）と標準栽植密度（標植）」を基本



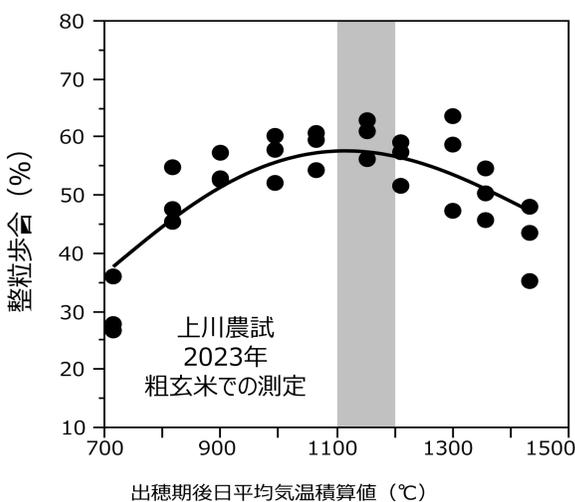
稈長75 cm以上で倒伏発生



葉面積が大きく
葉の枯れ上がりが少ない品種です

多肥栽培では過繁茂になり、
倒伏や外観品質の低下を生じます

(2) 収穫期が遅い



出穂期後日平均気温
積算値で1100~1200℃を
目安とします

(3) 施肥ガイドの基準収量別の目標収量と生育指標値

目標収量水準	基準 収量 (kg/10a)	目標 収量 (kg/10a)	生育指標（※株間13cmの場合）			
			成熟期 窒素吸収量 (kg/10a)	総粒数 (千粒/m ²)	穂数 (本/m ²) ※	幼穂形成期 茎数 (本/m ²) ※
120% (基本)	570	680	11.4	33.9-36.2	614	482
	540	650	11.0	32.5-34.8	593	456
	510	610	10.4	30.8-32.9	565	422
	480	580	10.0	29.4-31.5	544	399
	450	540	9.5	27.7-29.6	516	369
	420	500	9.0	25.9-27.7	488	343

基準収量対比120%の多収を目標とした栽培方法

- Step 1 「北海道施肥ガイド」から基準収量を求めます
- Step 2 上表から目標収量と対応する生育指標値を確認します
- Step 3 標準施肥量・標準栽植密度で栽培します

Option

倒伏や外観品質低下のリスクよりも収量を重視する場合は、
多肥栽培(施肥標準量+2~3kgN/10a)にし、過繁茂を避けるため
疎植と組み合わせます。目標収量は130%です。

普及 Dissemination

- ① 「そらきらり」の栽培管理指標として活用できます。
- ② 栽培管理指標は成苗ポット苗の試験結果から作成しました。

連絡先 Contact

中央農業試験場 水田農業部 水田農業グループ
0126-26-1518
central-agri@hro.or.jp